



化学会発



## 第1回CSJ化学フェスタ —2011世界化学年記念大会—

CSJ化学フェスタ実行委員会

### はじめに

日本化学会では2002年に「秋季年会」を中止して以来、これに代わるイベントを実施してこなかった。この1年間にわたり産学交流部門等にワーキングチームを設け、「産学官連携活動の強化」を視野に、これまでの「秋季年会」とは異なり、また「春季年会」ともその趣旨を異にする斬新な秋季事業の開催について検討を重ねてきた。その結果、今年度から「CSJ化学フェスタ」を開催することにした。

この新しい企画は今後継続的に実施していく計画にしておき、特に第1回である今回は世界化学年に賛同する形で、「2011世界化学年記念大会」として実施する。多くの参加と議論を期待する。

### 開催の趣旨・目的

化学産業は自動車、電子、電気機器などをはじめとするあらゆる川下産業の基礎を担っている。日本の化学産業が将来に向け、世界におけるそのプレゼンスを向上させていくためには、これまで以上になお一層の産学官の連携を図り、お互いの特徴を生かして世界に先んじたスピードで基礎技術の開発や製品開発にあたっていく必要がある。また、今年から公益社団法人として認可された日本化学会は化学の社会への貢献を積極的に発信していくことも重要な責務である。このような背景に鑑み、次の2点を趣旨・目的として標記化学フェスタを開催する。

1. 最先端の化学と化学技術に関する産

学官の交流深耕による化学、化学技術及び産業の発展への寄与とイノベーションの推進・強化

2. 化学の成果と未来に向けた化学の貢献努力の社会への発信

### 企画内容

1. テーマフェスタ：エネルギー問題と化学

東日本大震災以来、エネルギー問題が重要かつ喫緊の課題として顕在化している。エネルギー問題を、「創る、貯める、送る、使う」の各分野に切り分け、太陽光、太陽熱、風力、地熱などの再生可能エネルギーの技術開発を中心に据えた発電技術、リチウムイオン電池を含む最新の蓄電技術など最先端の技術動向とそこで期待される化学技術や新規素材のニーズに関する情報を提供する。エネルギー問題に関する化学の寄与を産学官で議論する場とする。

2. 産学官交流フェスタ

自動車、エレクトロニクス、住宅など未来の製品や社会のシステムの実現を目指して研究を進めているユーザー企業からのニーズ情報や、研究機関からの最新のシーズ情報を紹介し、イノベティブな化学技術開発のヒントを提供して、未来に向けた社会への貢献寄与を議論する。

3. 企業 R&D 活動紹介

最前線に立つ化学企業の研究者から、自社の自慢の技術や製品、研究開発の特徴や成功例、研究開発のトピックスなどを口頭発表や企業ブースで紹介するとともに、企業研究に求められる資質などの

メッセージを発信する。

4. 前夜祭、公開講座

「地球の過去、未来と化学」という雄大なテーマ及び未来に向かって今進んでいる様々なイノベーションを、大隈講堂で美しい映像を駆使しながら、一般の方にもわかりやすい講演を行う。

また、JACI（新化学技術推進協会）との共催による研究成果発表会を開催する。

5. ノーベル賞講座

2010年ノーベル化学賞を受賞された鈴木章北大名誉教授にご講演をいただく。また、2011年のノーベル化学賞をどこよりも早く解説する講演を予定する。

6. 学生ポスターセッション

産学官の議論を目的として学生のポスター発表を行う。

### 開催要項



会場の大隈講堂

日時：2011年11月13～15日

会場：早稲田大学大隈講堂ほか(新宿区)

詳細なプログラム、参加登録方法は日本化学会HPまたは本誌をご覧ください。

[CSJ化学フェスタ実行委員長・本会理事  
多田啓司(旭化成(株))

© 2011 The Chemical Society of Japan